

管理番号	検査項目	掲載日
3-A-4	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準（荷物用）	2013-04-01

1. 適用

巻上機型式 SHR-900、SHR-2000B、SHR-4000B および SHR-6000B の荷物用エレベーターに適用します。

2. 検査方法

2. 1 巻上機型式：SHR-900

V溝型のドラム式ブレーキを採用しています。ブレーキ概略図を図1に示します。

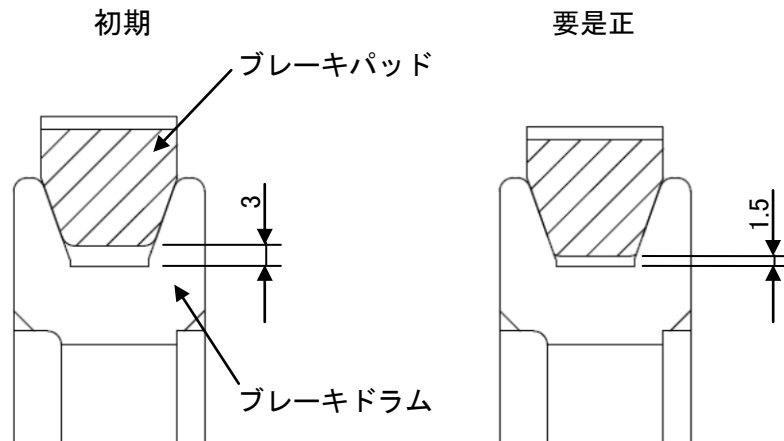
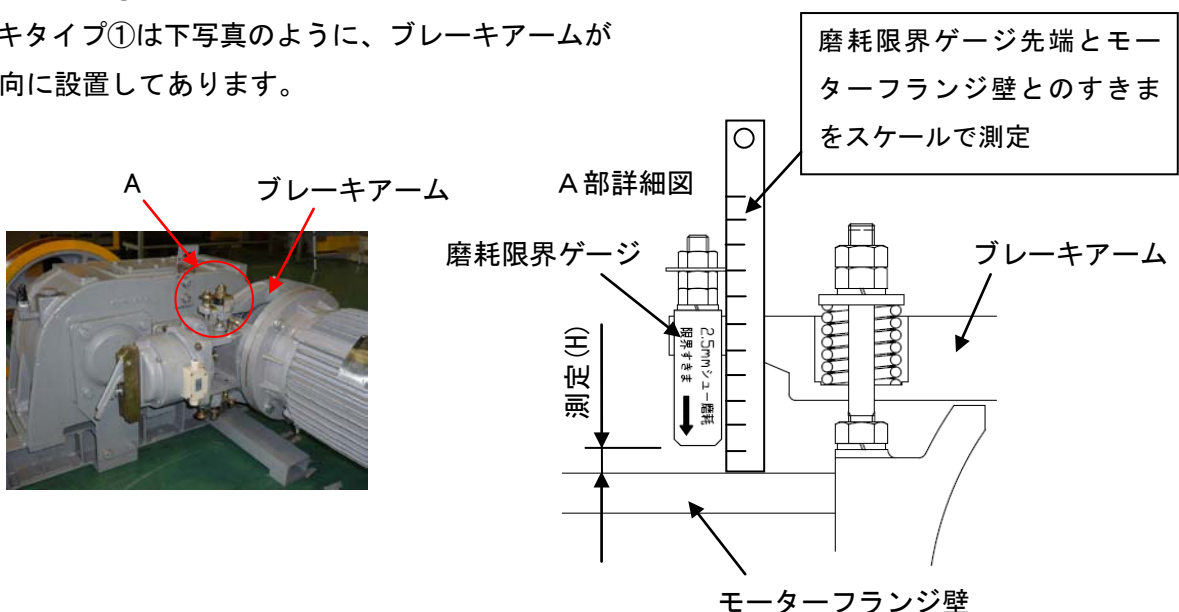


図1. ブレーキ概略図

ブレーキドラムとパッドの隙間を直接測定することが困難なため、測定寸法をブレーキアーム先端に取付けてある、磨耗限界ゲージに置換えて測定します。測定方法を以下に示します。

ブレーキタイプ①の場合

ブレーキタイプ①は下写真のように、ブレーキアームが水平方向に設置してあります。

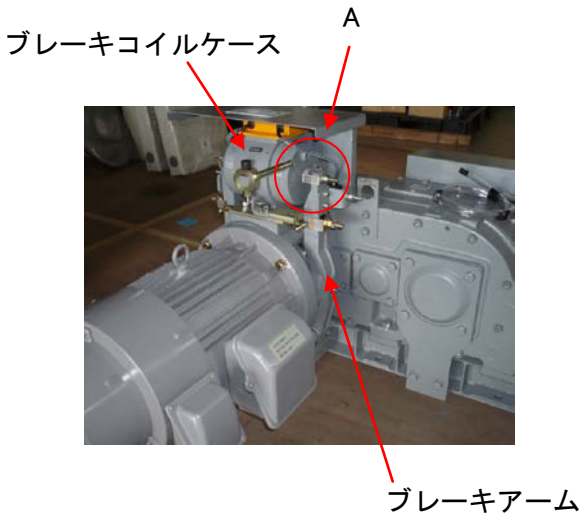


管理番号	検査項目	掲載日
3-A-4	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準（荷物用）	2013-04-01

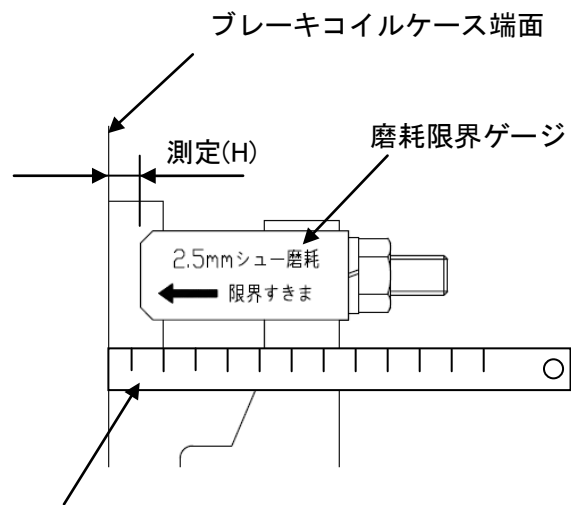
ブレーキタイプ②の場合

ブレーキタイプ②は下写真のように、ブレーキアームが垂直方向に設置してあります。

ブレーキタイプ②の磨耗限界ゲージにはタイプⅠとタイプⅡがあるので各タイプの寸法測定は以下 A 部詳細図を参照して下さい。

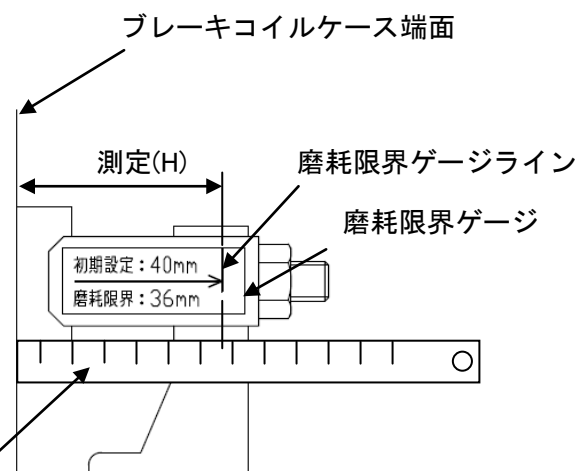


A 部詳細図ーゲージタイプⅠ



磨耗限界ゲージ先端とブレーキコイルケース端面のすきまをスケールで測定

A 部詳細図ーゲージタイプⅡ



磨耗限界ゲージのゲージラインとブレーキコイルケース端面をスケールで測定

・スケールで測定した寸法（H）を3.1項表1.判定基準により判定を行ってください。要重点点検の範囲となった場合は、ブレーキパッド（ライニング）の交換準備をしてください。

要是正の範囲となった場合は、速やかにブレーキパッド（ライニング）を交換してください。

管理番号	検査項目	掲載日
3-A-4	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準（荷物用）	2013-04-01

2. 2 巻上機型式：SHR-2000B、SHR-4000B、SHR-6000B

ドラム式のブレーキを採用しています。ブレーキ概略図の例を図2に示します。（巻上機の型式により形状は異なりますが、ブレーキパッドの厚みの測定に関係する部分の構造は同様です。）

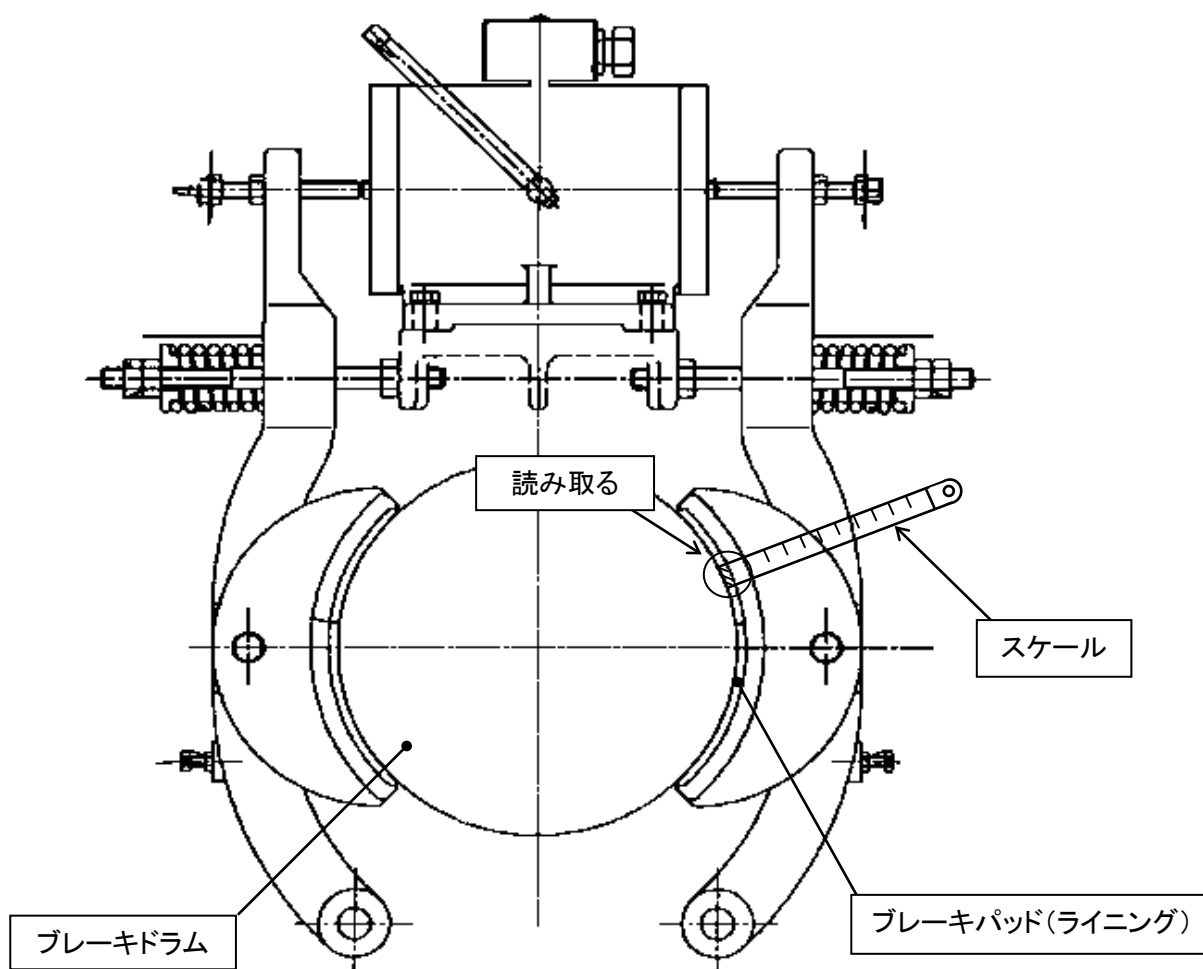


図2. ブレーキ概略図(例)

スケールでブレーキパッドの厚みを測定し、3. 2項表2. 判定基準により判定を行ってください。要重点点検の範囲となった場合は、ブレーキパッド（ライニング）の交換準備をしてください。要是正の範囲となった場合は、速やかにブレーキパッド（ライニング）を交換してください。

管理番号	検査項目	掲載日
3-A-4	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準（荷物用）	2013-04-01

3. 判定基準

3. 1 巻上機型式：SHR-900

表 1. UCMP 非対応判定基準

巻上機型式	測定寸法 H mm		
	初期	要重点点検	要是正
SHR-900 ブレーキタイプ①	6.5	4.0 未満	2.5 未満
SHR-900 ブレーキタイプ②磨耗限界ゲージ I	6.5	4.0 未満	2.5 未満
SHR-900 ブレーキタイプ②磨耗限界ゲージ II	40	38 未満	36 未満

表 2. UCMP 対応判定基準

巻上機型式	測定寸法 H mm		
	初期	要重点点検	要是正
SHR-900 ブレーキタイプ②磨耗限界ゲージ I	6.5	6.5 未満	2.5 未満
SHR-900 ブレーキタイプ②磨耗限界ゲージ II	40	40 未満	36 未満

3. 2 巻上機型式：SHR-2000B、SHR-4000B、SHR-6000B

表 3. UCMP 非対応判定基準

巻上機型式	測定寸法 H mm		
	初期	要重点点検	要是正
SHR-2000B、SHR-4000B	8.0	7.0 未満	6.0 未満

表 4. UCMP 対応判定基準

巻上機型式	測定寸法 H mm		
	初期	要重点点検	要是正
SHR-2000B、SHR-4000B、SHR-6000B	8.0	8.0 未満	6.0 未満